

ノリ養殖情報（第20報）

令和8年3月5日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【陸上】調査です。

1. 調査結果

調査日：3月2日(月) 天候：くもり 気温：12.0°C(2:10時点)

(今回(3/2)の水温等の測定時間帯 2:20~4:54)

(前回(2/22)の水温等の測定時間帯 3:55~6:10)

調査点		水温 °C		比重 σ ₁₅	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月22日	今回	今回	前回 2月22日	今回	アカ	ツボ
1. 神代	支柱	12.4	10.2	21.7	20.6	1.6	17.3	+++	なし
2. 仲よし下	支柱	11.3	11.1	20.8	81.3	10.1	55.1	++	なし
3. 半田	支柱	11.4	10.9	21.2	61.3	5.8	38.5	+	なし
4. 三会	支柱	11.2	10.6	22.7	42.9	1.1	41.1		

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	大型珪藻			小型珪藻		
	ユーカンピア属	リゾソレニア属	コンノディスカス属	キートセロス属	スケレトネマ属	ニッチア属
1. 神代		14		9	5	
2. 仲よし下		6	1	23	11	
3. 半田		10		13		8
4. 三会		4		3		

●調査結果概要

- ・水温は、11.2°C～12.4°C。海水比重(σ₁₅)は、20.8～22.7。
- ・漁場に設置している温度計の2月16日から2月21日までの測定結果は、平均温度は7.0～12.9°Cで、昨年より1.1～5.0°C高く推移しました。
- ・栄養塩は、20.6～81.3 μg-at/Lで、4調査点中すべてでノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・クロロフィル量が高い状態が続いています。
- ・あかぐされ病は3漁場中3漁場(目視レベル)で確認されました。壺状菌病は確認されませんでした。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高5,600・3,660細胞/ml (1月30日～)
- 福岡県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高2,040・1,190細胞/ml (2月17日～)
- 熊本県:珪藻類(スケルトネマ属やユーカンピア属) 最高3,200細胞/ml (2月24日～)

3. 他県の情報

- 佐賀県: 西南部の冷凍戻りは、全体的に良好でした。
アカが14点中9点で確認されました。ツボは確認されませんでした。
色落ちは、14地点中5点(筑後川河口域から白石町地先にかけて色落ちレベル2.5～3)で確認されました。(2月27日)
- 福岡県: 現在、冷凍網の5～6回目の摘採が行われています。
色落ちは13調査点で確認され、軽度が3点、中度が2点、重度が8点でした。
アカは11調査点で確認され、軽度が2点、中度が2点、重度が7点でした。
ツボは確認されませんでした。(3月2日)
- 熊本県: 色落ちが全域で見られます。
アカが全域に蔓延しています。ツボは未確認でした。
珪藻プランクトンは依然として多い状況が続いています。(2月26日)

4. 本県の情報

- 現在、摘採作業・一部撤去作業が行われています。
- 色落ちは全域で見られました(軽度:仲よし下・半田、重度:神代)。
- ノリ網の検鏡結果
あかぐされ病(目視レベル:神代・仲よし下・半田)が確認されました。
ツボの感染は確認されませんでした。
付着物は、珪藻(タビュラリア、リクモフォラ、メロシラ)が多く見られました。
- ノリ漁場にアオサ類が多く発生し、ノリ網に付着する状況になっています。
- 病害のまん延を防ぐために生育管理に努めてください。